



国見っ子

令和3年度 第13号
国見町立国見小学校だより
令和4年 1月19日
発行者 校長 本多 康弘

3学期がスタートしました

先週の1月11日(火)より、3学期がスタートしました。学校に子ども達の元気な声と明るい笑顔が戻ってきました。冬休みの間、子ども達はご家庭でどのように過ごすことができたでしょうか? 事故や事件等にあわず、無事に冬休みを家庭で過ごし、3学期を迎えることができたことをうれしく思います。

さて、この冬休み中には残念ながら、年末・年始から新型コロナウイルス感染症”オミクロン株”の話題があふれることになりました。県内でも感染者数が増加傾向にあります。この変異株について詳細がつかめていないところではありますが、これまでのとおり基本的な感染予防策として、3密の回避、特にマスク着用、手洗い、換気の徹底に努めていくことが必要です。このことについて、新たな通知等があれば改めて文書等にてお知らせいたしますが、現在のところ、これまで同様の感染症対策をふまえて”できること”を工夫しながら教育活動を進めていきます。

そのため、本年についても、ご家庭においても引き続き、体調管理、朝の検温、マスク着用、手洗いの励行等のご指導をお願いいたします。また、誹謗・中傷、偏見・差別といった人権問題に関わるようなことのないよう、この機会に人権について改めてご指導をお願いいたします。



進学・進級を目指して

いよいよ2022年となり、3学期がスタートしました。

始業式では、1~3年生と4~6年生にわかれて始業式を行いました。あわせて以下のようなお話をしました。

今年は、寅年です。諸説ありますが、この寅年については、もともと中国から伝わったとされる十二支によるものです。この十二支は、植物が循環する様子を表していて、その年の特徴につながるといわれています。

”寅”は十二支の3番目で、”子年”に新しい命が種の中で芽生えはじめ、”丑年”には種の中で育ち、”寅年”は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。学校生活で考えると、今年はこれまで「学んだこと」がいよいよ根っことなり、成長を感じられる年になることを表しています。

その「学んだこと」について、以下のような言葉があります。

『勉強するから、何をしたいかわかる。勉強しないから、何をしたいかわからない。』

例えば、小学校や中学校、高校もテストがありますが、社会に出れば車の運転免許をとること、お医者さんになることなど、テストで合格を取らないと、資格も得られず、働くこともできないこともあります。

さらに、「どうやったら優れたスマホをつくれるか」「どうやったらおいしい料理を作れるか」「どうやったら速く走れるか」「どうやったらお金を稼ぐことができるか」など、どれも勉強が必要なことです。さまざまなことを学ぶことにより、自分のこと、社会のこと、未来のことが見えてきます。そこで、自分の生き方や将来の目標も見えてきます。さらに、自分は何をしたいのか、自分には何が必要なのかが見えていきます。

しかし、何もしないところには、何の成長もありません。学校での勉強や学校生活すべてのことに”やらない”人にならず、力を尽くしてみることが大切です。図工や音楽、体育、家庭も全部頑張ってみることで、やってみたいことも見えてきます。できなくても積み重ねれば、必ず力に結びつきます。しかし、やらない人はそこに立ち止まったままです。

4月になれば、進級・進学することになります。この3学期、学習のまとめ、学校生活のまとめにじっくり取り組んで、一流の国見っ子を目指してほしいと思います。



